

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 阪村 智美

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式  四肢択一形式とする。</p> <p>3 出題数  50問 四肢択一形式(配点2点)</p> <p>4 合否判定基準  【筆記試験】 100点満点 60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い  結果発表後、直ちに2時間の補習のうえ再評価を行う。 再評価に係る合格基準と同等とする。 補習料：1時間あたり2,000円 再評価料 1,000円 再試験は最大2回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には補習範囲に応じて、 次のコースの当該内容の授業を受け、再筆記試験を受ける。 再筆記試験：1回あたり1,000円</p>
------------	--